

【日 時】平成26年 3月18日

【訪問先】並木中学校 菱刈範之校長

【概 要】児童数 306名 12学級（平成24年5月1日現在） 職員数16名

## 【視察報告】

### 1、校長先生のモットー・教育目標

モットー『ゆっくり進むことを恐れるな』

教育目標『一人ひとりが希望を持ち、お互いの信頼と協力により、心豊かなたくましい人になるように』

### 2、英語・国際教育の取り組み

外国籍の児童が2名在籍しているが、日本語に問題はあらず、支援の必要は特になし。AETによる授業のサポート。



### 3、地域のボランティアの取り組み

地域の方々を中心となり、地域・生徒・保護者が一体となって紫陽花2000本を10年かけて植えようという「紫陽花学園」を計画し、年に3回ボランティア活動を行なっている。また、マラソン大会の実施も地域の方々の協力の下行われている。更に、地域の方が剣道部やバスケット部をコーチとしてサポートしているなど幅広い分野で地域の協力を得ている。

### 4、地域との防災の取り組み

地域防災拠点校であり、年に3回防災訓練を実施している。しかし、訓練を日曜日に実施しており、部活動の関係上、参加できない生徒がいることが問題となっている。

### 5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

いじめ防止の基本方針を制定し、調査やアンケートを実施している。

### 6、授業での力を入れた取り組み

総合力、身に付けた知識を応用する力をいかにつけるかを重要視し、授業内容の更なる向上を図っている。また、少人数での授業を推進している。

### 7、体力強化やクラブ活動の取り組み

12月に全校生徒が参加するマラソン大会を行なっている。

### 8、その他

小学生の授業体験を行うなど、小中一貫教育を推進している。また、並木ブロック内の小中5校で連携を図り、共通した取り組みを行なっている。

## 【所 感】

紫陽花学園の計画のような地域との長期にわたる継続した活動が地域社会との連携を強くし、地域に根付く学校になるのだと改めて感じられた。並木中のような活動が他の学校でも行われて欲しい。

そして、廊下ですれ違った生徒がみな元気よく挨拶をしていて、明るい活気のある学校という印象を受けた。

